

「今、ここからできるSDGs」

さあ、わたしたちも簡単なSDGsから始めてみましょう。

(国際連合広報センター：「持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド(改訂版) https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/24082/より抜粋)

- 生鮮品や残り物、食べ切れない時は早めに冷凍しよう。翌日までに食べられそうにないテイクアウトやデリバリーもね。そうすれば、食べ物もお金も無駄にしないで済むからね。
- 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすれば、埋立地を増やす必要がなくなる。
- できるだけ簡易包装の品物を買おう！
- エアコンの温度を、冬は低め、夏は高めに設定しよう！
- 「訳あり品」を買おう！大きさまや形、色が規格に「合わない」という理由だけで、捨てられてしまうような野菜や果物がたくさんあるよ。
- 使わないものは寄付しよう。地元の慈善団体は、あなたが大事に使っていた衣服や本、家具に新しい命を吹き込んでくれるはず！
- 照明を消そう。テレビやコンピューターの画面は意外と明るいから、必要ない時にはそれ以外の照明を消しておこう。
- 買い物にはマイバックを持参しよう。レジ袋は断って、いつもマイバックを持ち歩くようにしよう。



「これからの取組」

今月号の特集はいかがだったでしょうか。
今回SDGsを実践する3人からお話を聞き、SDGsをやわらかく考えてみました。

そこから見てきたのは、「大切な人や場所の少し先の未来を想像し、今とつなげてみる」ことでした。

今ここから遠い世界の困っている人を想像することは困難かもしれませんが、自分に手の届かない問題を考えるのも大変なことです。

でも自分の大切な人の未来を想像し、今ここでできる行動を起こし、未来につなげる、そのことが遠い世界の会ったこともない誰かのためになっている、そうやわらかく考えてみてはどうでしょうか。

本市では今後、以下のメニューでSDGsを生かしていく取組を始めます。

● 「第2期 安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

今年度作成するこの戦略の中に書かれるそれぞれの目標にSDGsのゴールに照らし合わせ、達成すべき数値を設定していきます。

「誰一人取り残さない安中市」を達成するため、本市も取組を進めていきます。

DECADE OF ACTION

2020年、「行動の10年」スタート

世界各地でSDGsの進展がみられますが、2030年までに目標を達成するには、取組のスピードを速め、規模を拡大しなければなりません。2020年1月、SDGs達成のための「行動の10年(Decade of Action)」(ディケイドオブアクション)がスタートしました。

問合せ▶ 困企画課企画調整係 (☎内線1020)